



滋賀県草津市立老上小学校 学校だより

<学校教育目標>

「よりよい生き方を求めて
ふるさとを愛し
未来にはばたく老上っ子」

おいかみっ子

令和7年(2025年)9月26日 No.12

「スクールESDおいかみ」の実践について

生活科、総合的な学習の時間において、地域の課題解決に子どもたちが主体的にかかわり、地域社会の一員としての意識と行動力を身に付けることをめざした学習活動を展開しています。

1年

「あきのおもちゃランドで 交流しよう」

昨年度、6年生を招待して「おもちゃランド」を開催しました。今年度は、保育園、こども園の園児を招いて開催する予定です。地域の方から作り方や遊び方を教えていただきながら、秋の自然物を使って工夫して遊ぶことを学んでいきます。



【昨年度「あきのおもちゃランド」】

2年

「もっと知りたい たんけんたい」

学区の町探検を行い、そこで、各方面で見つけたものや、わかったことをクラス・学年で交流をします。2学期は、まちにある25の事業所に出向き、子どもたちが出した意見をその事業所とつなげていながら、見学・調査を行います。そして、老上学区に愛着を持って、地域や家庭に学んだことをマップなどにまとめ、老上学区のよさや特色を発信していきます。



【昨年度「老上すてき発表会」】

3年

「老上安全大作戦」

老上学区の安全・危険を様々な視点で考えていきます。まちづくりセンターの日下部さんやスクールガードの杉江さんからは、大人の視点から見た町の安全・危険箇所などを教えてもらいました。また、老上こども園やくさつ優愛保育園モンチと協力し、保育士、園児や保護者の視点から見た安全・危険を考えました。さらに、郵便局の方から、集配で感じておられることを聞きました。この話を受けて実際に町を歩き、自身で確かめながら、自分たちにできることを考えていきます。



4年

「防災」について考える

「防災」をテーマに学習をしています。
 まちづくりセンターに隣接している備蓄倉庫の中を見学し、発電機やチェーンソー、毛布やお米など倉庫内のものについて数量や使い方などを調べました。今後、地域の方や災害現場を体験された方の話を聞いたり、調べ学習をしたりしながら、いのちを守るために、自分たち、家庭、地域ができることについて考えていきます。



大切にしていること

- ①本物の体験活動 ②自分発の行動・発信
- ③地域・社会との連携

5年

「もっとびわ湖・ ずっとびわ湖・ This is びわ湖」

びわ湖の魅力をもっと感じられるよう、実際にびわ湖に出向き、写真を撮るなどし、びわ湖の壮大さを感じました。また、その写真を校内に掲示し、魅力を伝えました。さらに、びわ湖に関する魅力を調べていくと、びわ湖には様々な問題があることがわかってきました。そんなびわ湖を「もっと知ってほしい」、課題に対し、「自分たちにも何かできることがあるのではないか」という切実感をもって、学習を進めています。



6年

「地域のつながり」を考える

老上まちづくりセンター長さんから「つながる」をテーマに話をいただき、つながりを創出する活動など老上のまちづくりについて詳しく教えていただきました。今後、グループでの交流を通して、自分たちの住む地域のつながりについての学びを深めていきます。



はぐくみ老上スタイル (学びのサイクル)

- ① 発見・蓄積
- ② 整理・分析
- ③ 再構築
- ④ 提案・行動・発信

「地域を歩く」を通して五感で新たな気づきや発見ができるような単元計画の作成

たんぼぼ

「いろいろな人とふれ合おう」

生活単元学習、自立活動の一環で、栽培活動を行っています。いろいろな野菜を育て、調理し、食する体験をしていきます。また、地域で育った野菜を購入する活動を通して、地域の方とのつながりを大切にしていきます。

